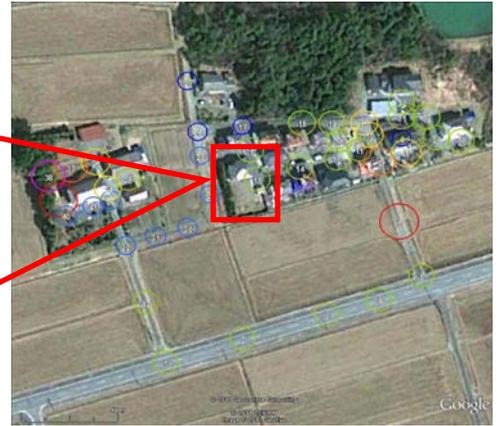


大熊町一時立入時放射線モニタリング結果(きなやん宅)

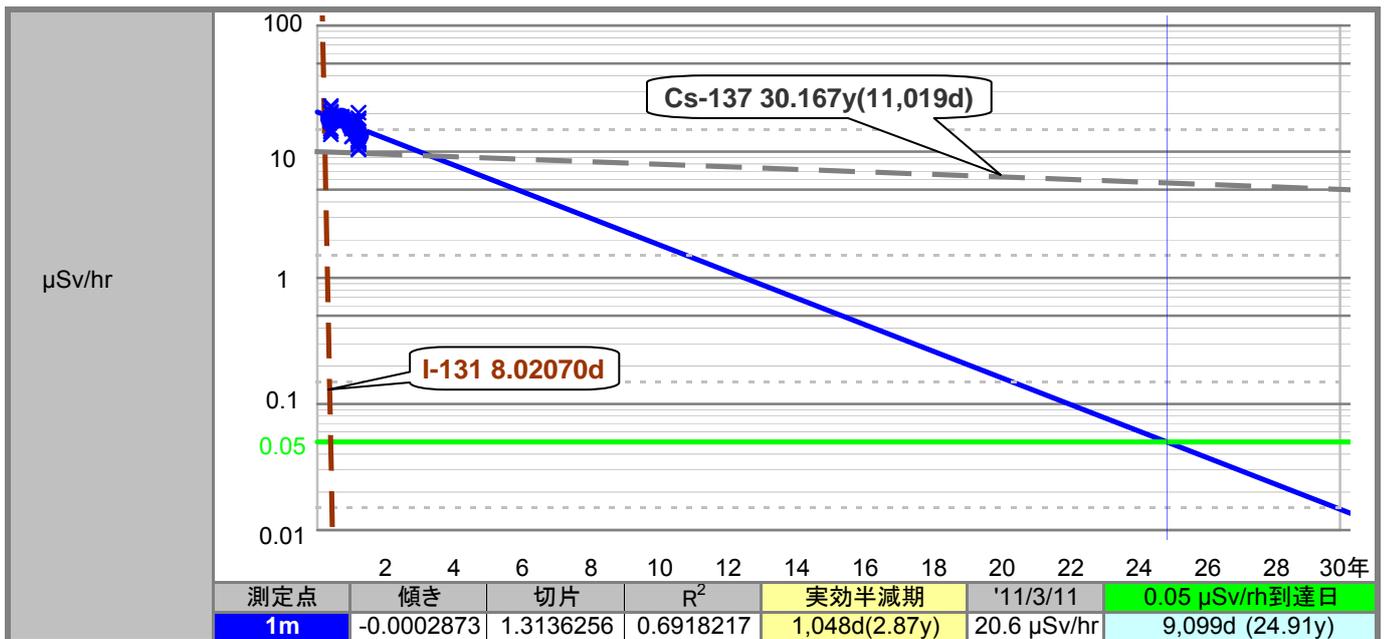
測定日 : 平成24年5月26日(土)
 測定時間 : 11:10~12:30
 測定器 : POLIMASTER
 Xy Personal Dosimeter PM1610(線量率)
 測定点 : 地上1.0m高さ
 測定者 : (東大和久)きなやん
 被ばく線量 : 18 μ Sv(借用APD)

道の駅ならば アスファルト面 3.5kcpm
 GM BG800cpm(1m高さ)

10:20 : 道の駅ならば着0.34 μ Sv/h
 : 受付免許証/許可書確認
 防護装備着用、APD/トランシーバー借用
 10:40 : 出発
 11:10 : 一次立入開始
 12:30 : 一次立入終了
 14:00 : スクリーニングサーベイ
 >13kcpm 拭き取り除染を実施
 人・物とも<13kcpm で搬出・持ち出し可
 14:30 : 終了



きなやん宅内の実効半減期は約1.5年なのに対し、周辺(庭)の実効半減期は約2.87年と長くなった。
 これはCs134の半減期2.06年より長い数値です。
 福島第一原子力発電所から南西約3kmの場所にあるきなやん宅周辺は、高レベルに放射性物質が蒔き散らかされているので、日々周辺から新たな放射性物質が吹き込んで来るためによるものと思われます。
 家の中の2階にまでは、入り込まないようです。



Cs-134の半減期は2.0648y(754.19d)、Cs-137の半減期は30.167y(11,019d)です。実効半減期は、この2つの物理的半減期と雨風除染等によって減少する環境的半減期によって決定します。Cs-134が減衰するとCs-137が残り、実効半減期も大きくなると予想されます。
 - - - - - Cs-137の減衰直線です。ただし、存在量が不明ですので、30.167年という時の長さだけを感じて下さい。
 - - - - - I-131の減衰直線です。存在量が不明ですので、3月15日午前9時00分正門付近の11,930 μ Sv/hrとしました。